

2.生きものが棲みやすい土を作ろう

エコピュアあびこ

1 土の中は生きものがいっぱい

土壌1gの中に50億個の微生物が住んでいて互いに助け合い、植物の根と共生している

昆虫 アリ 養蚕 カエル
フラジムシ ヤスデ ソウムシ カニムシ ダニ
原生動物 ミミズ ダンゴムシ トビムシ
センチュウ カビ バクテリア モグラ クマムシ

生きものがいない土は「死んだ土」と呼ばれ、作物が育たない。土の中の生きものが元気にくらす「生きた土」がたいせつ

2 ミミズは地球の耕作人

ミミズの行動

- 1 自然のくわ
- 2 栄養たっぷりのふんを作る
- 3 ふんは黄金の土
小さな穴が多く
・空気を通しやすい
・水をためる
・腸の微生物が多い
- 4 作物の好きなチッソ(N)を多く含む
- 5 微生物に分解され肥料になる

3 落ち葉は木から大地へのプレゼント

- 落ち葉は毎年得られる無限の天然資源
- 分解されて土になり、土中の生きものを育てる
- その土地の落ち葉を多種類組み合わせる
- 落ち葉にくん炭(もみがらをいぶして炭化させたもの)を混ぜて用いるとなお効果的
- 落ち葉の上に生ごみをまいておけば自然に分解する
- 落ち葉の上に水や米のとぎ汁をまく

4 生ごみ堆肥も土と生きものを育てる

生ごみ堆肥を入れると、さらに数百億個の微生物がふえ、健康な土になる

ボカシあえ ミミズブランター コンポスト
土の穴に入れて数ヶ月
機械式処理機 落ち葉
栄養豊かな土

エコピュアあびこ

代表 渡辺 康子 我孫子市のごみ減量を目的とした会で、生ごみリサイクルの推進と啓発につとめています。
電話 04-7182-4123 住 所 我孫子市我孫子 2-5-1237
す。ボカシを利用して、家庭から出る生ごみを発酵堆肥にして家庭菜園や花壇に有効利用しています。今年もパネル展示と、科学あそびのコーナーを担当しました。子ども達に科学の楽しさを知ってほしいと思っています。